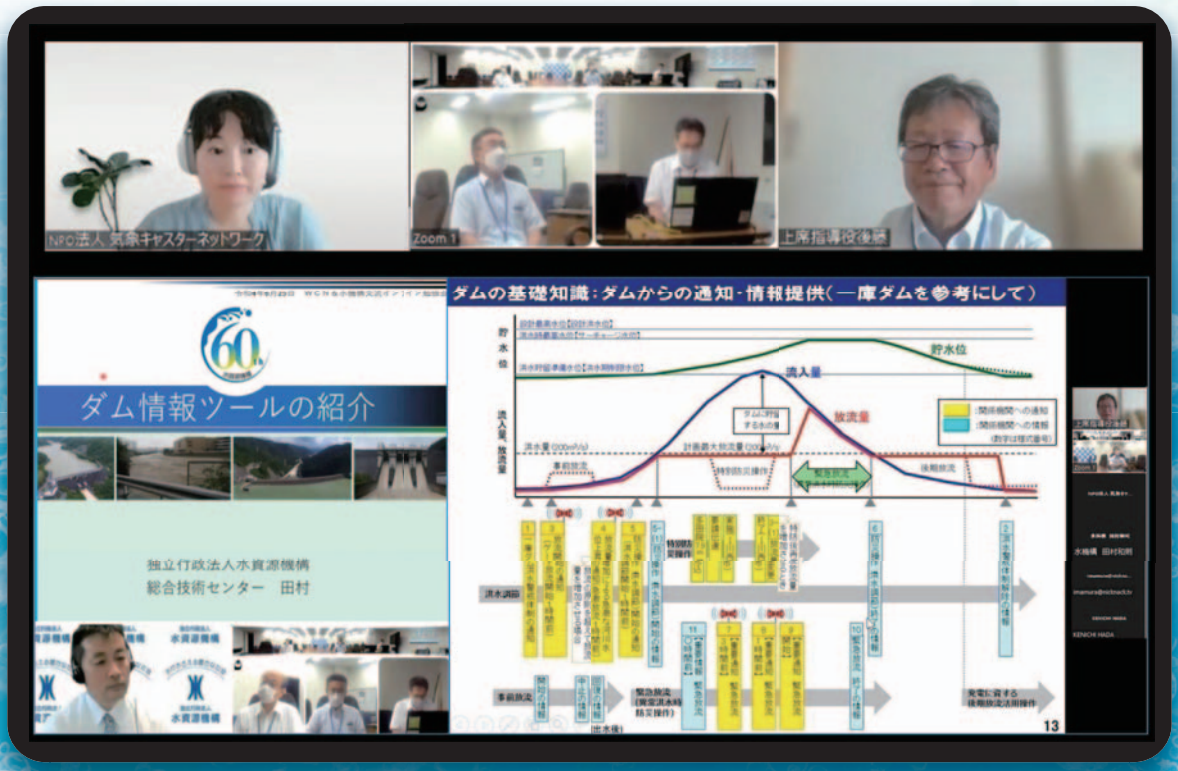
気象キャスターネットワークとのオンライン交流会の開催について

水資源機構のダムや水路等の施設管理をしている職員は、気象に強い関心を持ち、頻繁に気象情報をチェックし、担当施設がある地域の気象特性も踏まえて適確な判断と操作ができるように対応しています。その点、全国各地のテレビ局の気象予報番組で活躍されている気象キャスターの仕事と近いフィールドの仕事であるといえます。

機構では、従前よりNPO法人気象キャスターネットワーク（以下「WCN」）との交流機会や本誌「水とともに」において気象キャスターによる「天気のミカタ」の連載など、継続的な関係を築いてきたところですが、コロナ禍でしばらく交流機会が途絶えていた中、6月25日（土）、機構とWCNとのオンライン交流会を開催いたしました。交流会では、気象キャスターの皆さんからのリクエストで、ダムの防災機能等を中心に情報提供を行うなど、活発な意見交換をさせていただきました。

今後、次なる交流機会として、オンラインによる気象勉強会や、機構の所管水系毎の管内施設見学会＆意見交換会などを行う予定です。これからも、強い発信力を有する気象キャスターの皆さんとの更なる連携強化に努めていきたいと思います。